

原核生物コハク酸コエンザイムA合成酵素、組換え

Cat. No. NATE-0916

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 酵素学において、コハク酸-CoAリガーゼ（ADP形成）（EC 6.2.1.5）は、次の化学反応を触媒する酵素です： $\text{ATP} + \text{コハク酸} + \text{CoA} \leftrightarrow \text{ADP} + \text{リン酸} + \text{コハク酸-CoA}$ 。この酵素の3つの基質はATP、コハク酸、CoAであり、3つの生成物はADP、リン酸、コハク酸-CoAです。この酵素はリガーゼのファミリーに属し、特に酸-チオールリガーゼとして炭素-硫黄結合を形成するものです。この酵素は4つの代謝経路に関与しています：クエン酸回路、プロパノ酸代謝、C5分岐二酸代謝、還元的カルボキシル化サイクル（CO₂固定）。

別名 CoAリガーゼ（ADP形成）； スクシニル-CoA合成酵素（ADP形成）； スクシン酸チオキナーゼ； スクシネートチオキナーゼ； スクシニル-CoA合成酵素； スクシニルコエンザイムA合成酵素（アデノシン二リン酸形成）； スクシニルコエンザイムA合成酵素； A-STK（アデニンヌクレオチド結合スクシネートチオキナーゼ）； STK； A-SCS； スクシネート-CoAリガーゼ（ADP形成）； EC 6.2.1.5

製品情報

由来	微生物
形態	液体
EC番号	EC 6.2.1.5
CAS登録番号	9080-33-5
分子量	α-subunit: ~31kD; β-subunit: ~41kD
活性	~ 13 U/mg タンパク質
単位定義	1ユニットは、pH 8.4および25°Cのグリシルグリシンバッファー中で、NADHおよびコエンザイムAの存在下で、コハク酸から1μmoleのスクシニルCoAを放出するのに必要な酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法 4°C